

アトリエ 琉游舎 だより 118号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2021年11月17日発行

時雨心地

おほ空は曇らざりけり神無月しぐれ心地は我のみぞする

- 「時雨」は晩秋から初冬にかけて降る雨で、降ったりやんだりするにわか雨のことです。北から寒気の雲がやって来たかと思うとサッと雨を降らせてまた通り過ぎていく通り雨。
- 「時雨心地」は時雨の降りそうな空模様、転じて涙の出そうな悲しい気持ちのことです。時雨心地の悲しい気分も通り雨のようなもの、心の内をさーっと通り過ぎてまた気持ちに光がさすことでしょう。時雨の後の虹を「時雨虹」と言います。時雨心地にさす一条の光です。
- 「おほ空は曇らざりけり神無月しぐれ心地は我のみぞする」拾遺和歌集に収録されている紀貫之の和歌です。神無月は10月の別名ですが、現在の季節で言えば11月頃です。雲一つない秋晴れの空の下、皆んな晴れ晴れとした気持ちだろうに、私だけが時雨心地の気分。
- 何が彼を時雨心地にしたのでしょうか。恋人に袖にされたか、舞い散る落ち葉に無常を見たか冬間近の季節に政争に敗れた自身を重ね合わせたか、彼の心に時雨虹は立ったのでしょうか。
- 「女心と秋の空」と良く耳にします。めまぐるしく変わる女心を、秋の空模様に例えた言葉です。女性に対して失礼な言葉ですね。私の経験ではころころと自分の意見を変えたり、あちこちと目移りする浮気性は男の方が遙かに多いような気がするのですが、いかがでしょうか。と調べてみると江戸時代は「男心に秋の空」と言っていたようです。因みに小林一茶は「はづかしやおれが心と秋の空」と俳句に詠んでいます。秋の空のように変わる己の心ははずかしやと歎いています。自分の心変わりを歎くことのできる人は節操のある人ですね。
- 議員さんは秋の空ばかりですね。しかも恥じることなく堂々としている。相手次第で政策も秋の空、選挙のためなら政党所属も秋の空。政党は選挙互助会、政策の投げ売りで大盤振る舞い秋の空です。秋の空の人達は、きっと時雨心地も時雨虹も知らないでしょう。そんな人達に私たちの未来を預けていると考えると、秋晴れの空が急に真っ黒な雲に覆われてきました。私たちの明日は時雨心地のままなのか、時雨虹が立つのか、果たしてどちらでしょう。

読書会

11/30-12/14
火曜13時半

日蓮の「立正安国論」と
消息文を読みませう。テキ
ストもすべてご用意。

写経会

12月5日(日)
13時半

般若心経・自我偈・観音偈の手本
を用意しています。初めての方も
すぐにできます。

12月2日(木)

映画会

お休みします

11/18 木	13時半	真珠の首飾り (95分)	ゲアリー・クーパー、マレーネ・ディートリッヒ主演。女泥棒マデリーンは、パリの宝石商から真珠の首飾りをだまし取りスペインへ逃走する。国境の検問で焦った彼女は、
11/25 木	13時半	丘の一本松 (98分)	ジョン・ウエイン主演。山奥に暮らすトリヴヴァー家とファーリン家は代々犬猿の仲で争いが絶えなかったが、鉄道建設が始まったことで次第に人々は変わり始めていく。
12/2 木	映画会お休み		
12/9 木	13時半	市街 (82分)	ゲアリー・クーパー主演。ビールの密造で儲けるギャング一味、一味の養女ナンは父親の罪をかぶり刑務所に入るが恋人のキッドはナンを助けるためにギャングに仲間入りするが、
12/16 木	13時半	ゼンダ城の虜 (101分)	翌日に迫った新王の戴冠式でにぎわう王国を訪れたルドルフ。釣りをしていると自分に瓜二つの男が現れる。その男はなんと新王ルドルフ5世だった。

無所得となってもう5年が過ぎようとしています。失業保険をもらっていた期間以外は収入と呼べるようなものは今までありません。この間は妻の扶養家族となり税金も健康保険料も払わないですむ生活をしてきました。お金を稼ぐという日々縛られない生活を許してくれた妻にはとても贅沢で貴重な時間をもらったと感謝しています。来年からは年金生活者です。収入と引替えに住民税や健康保険税を払うこととなります。一度収入から解放された生活に慣れてしまうと、生活用の口座に一定金額が定期的に支払われそこから定期的に支出をしてその金額の出入に注意を払うようなかつての生活に戻ることができるかいささか不安です。

無所得の5年間は経済的には貯金を取り崩す日々です。例えばある一定金額を貯金から3ヶ月おきに引き出し、生活費口座に入れるという計画的取り崩しをしていかないとすぐに貯金が底をついてしまいます。ところがこの考えには落とし穴がありました。仮に3ヶ月に1回40万をとり崩すとすると、3ヶ月で40万を使ってしまうのです。計画的取り崩し（収入）は計画的浪費（支出）と同じことだったのです。これでは給与生活者の時と根本的には何も変わっていません。そこで計画することを止めてみました。すると3ヶ月に1回だった取り崩しが4ヶ月に1回となり、今では5ヶ月に1回です。計画経済に縛られた生活から解放されたたん、支出も減ったのです。かつてはあった高価なものが美味しいや必要なものとする価値観が、自然豊かな土地での行ないの日々で雲散霧消してしまっただけです。因みに最近のご馳走は採れたてのつまみ菜と赤ちゃん大根を刻んで塩漬にし、炊きたてのご飯と混ぜて食べる菜っぱ飯でした。これ以上ない至福の食卓です。

「所得」は通常では自分の所有となるもの、利益や収入などを示す言葉です。資本主義の世の中では有所得が多ければ多いほど人から称賛もされ、またそれを目標とした人々が凌ぎを削る勝ち組のための言葉で、これは「勝・負」「得・損」「多・少」などの相対立する二者のうちの前者に執着して初めて実現可能なことです。ところが仏法では「得られるものがある」と考えることは、物事に執着することですから、「有所得」は否定的な意味となります。仏法の基本的な世界観「縁起の法」によれば所得も常なるものではありません。ないものを有ると誤って見てしまった状態が「有所得」です。私たちが生きる社会ではインフレともなればお札は紙切れに、貯蓄は印字された数字と化し得るでしょうが、無常の世界ではそもそもお札も貯蓄もただの幻影に過ぎません。紙切れでも数字ですらありません。あると思えばある。ないと思えばない、思い込みの産物です。一方「無所得」は通常では収入がないことです。社会生活者として税金の支払いが免除されます。私はその無所得者の一人です。貧乏や負け組の代名詞のように聞こえますが、仏法では悟りの道を歩む教えの勝ち組です。これは決して負け惜しみではありません。仏法者の「無所得」は、なにものにも囚われない、執着から解放された自由の世界、ありのままに観ることのできる境地に在ることなのです。

私は仏道に入ったときに経済活動は一切やらないと決めました。これは給与生活者として自分の心身を元手に取引してきた毎日から離脱することです。それから誰かの為や何かの為に行動するという行為の交換が一切必要なくなる日々を過ごすこととなりました。自分の時間や体力や気力を何かと交換することは、それに見合う「得る所のもの（所得）」が無ければならないはずですが。それは智慧を巡らし計画を立てあらゆる手練手管で、相手より少しでも多くのものであることに執着しなければ損をしてしまう取引の世界です。私はその世界から離脱（出世間）する道を選びました。得るところが有る「有所得」の道から得るところを求めることを必要としない「無所得」の道です。そしてそれが安らぎの処へと通じる確かな道なのです。

「布施」と「所得」は全く異なるものです。所得は取引であり交換によって獲得するものです。私の毎日の行為の対価で得たものがあればそれは所得となります。布施は人や物の対価ではありません。お釈迦様の教えを永遠のいのちとして繋いでいく行いそのものです。それがたとえ食物や金銭の布施行に具現化されているとしても僧侶や寺院や宗教法人が対価として受け取って私有してはならないものです。それを受け取ることのできる唯一の存在はお釈迦様であり教えそのものです。金銭に具現化された布施行を他の布施行に替える行ないはお釈迦様の教えを繋いでいく行ない以外にはあり得ないのです。この仏法者としてあたり前の大原則を破り布施を物理的な物品と意図的に解する者たちを破戒僧と言い謗法者^{注1}と言うのです。布施を生活費や学費や外車の購入に交換する僧侶、人寄せのために飾り立てる豪華な寺院、世直しのためと称し政治献金する宗教法人、どれもこれもその原資は所得です。布施では決してありません。布施は行いです。その行いは無所得の行いです。無所得者は行い以外の何ものにも布施を替えることはできないのです。何者にも束縛されず、ありのままに観て、ありのままに行うことのできる者が無所得者です。その無所得者になり続けることが私の毎日です。その毎日とは何かのためでも、何かに交換できるものでも決してないのです。

来年から年金を受け取るようになります。すると私は無所得者からまた有所得者になってしまうのでしょうか。これは難しい問題です。せつかくこの5年間を無所得者として自由でストレスの無い毎日を過ごすことができたのに、また年金に執着する生活になってしまうのか、とはいえ布施を所得の如くに使いながらこれは布施だからと強弁する謗法者のように、年金所得を無理やりこれは布施だから私は無所得者のままだ、という詭弁を弄すような狂言綺語を書くこともできません。社会の中で生きて生活している 琉游舎：戸井 出琉・恭子 限り、これを言葉の解釈や言い換えで示すことは不可能です。ただ日々の お問い合わせ：0287-53-7848 08033508152 行いだけが、その答えを示すことのできる唯一の方法なのです。 矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850